

丹高ニュース

～ 豊かな学びの実現 ～

“地域×高校生”の思いが創る丹原七夕夜市 ～生徒220名がボランティアとして参加～

丹原高校は
地域に近い
学校です！

丹原高校生が主体となつて企画・運営する丹原七夕夜市が7日、

丹原高
手作り

夜市交流 あせぬ 思い出

西条 全学年での運営に幕



丹原高生のブースで射的を楽しむ子ども

西条市丹原町池田の丹原小学校であった。同校は県立高校再編で2028年3月末での閉校が決まっており、3

今年が最後。約220人の生徒は、屋台や吹奏楽の演奏で訪れた地域住民らに楽しい夏のひとつときを提供した。夜市は、丹原商店街の衰退などを理由に18年に幕を閉じた「丹原七夕夏まつり」に代わるイベントとして、丹原高校生と周桑商工会青年部が協力し、19年から開いている。生徒らは今回、商店街のベビーカーステラ店とコラボし、校内で育てた農作物を使った限定スイーツを販売。地域に根付いたイベントにしようと奮闘している。会場には40ブース以上が並び、丹原高校生は射的やヨーヨー釣り、輪投げなど11ブースを出店。訪れた約3千人と交流を楽しみながら夜市を盛り上げた。ソフトクリームを販売した3年西森侅哉さん(17)は「多くの人の笑顔を見ることができ、地域行事のよさを実感したと充実した様子。3年榎部杏さん(17)は、全学年そろつての開催ができなくなることにさみしさを感じつつ「いろんな世代との交流が生まれ地域が盛り上がるのが夜市の魅力。閉校しても行事は続いてほしい」と願っていた。(伊藤義樹)

生徒が、運営スタッフとして企画から運営まで参加。“楽しい・おもしろい”時間と場所の創造をし、地域に新たな伝統文化の創造と活性化に貢献しています。

地域の方の御協力で、地域を愛する心の育成、地域課題の発見、地域の方と協働し、課題解決する力を身に付ける楽しい学びを主体的に取り組んでいます。